

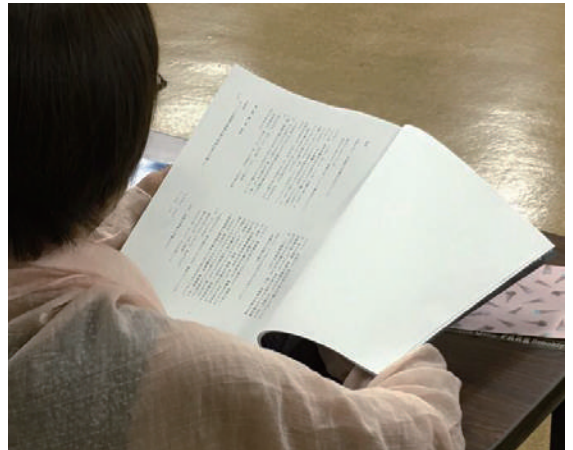
声を出していこう！ 憲法を読んでもみる in 丸善

～演出家と一緒に様々な憲法を読んでもみよう～

憲法と演劇…？

憲法とダンス…？？

愛知県芸術劇場で4月に行われる演劇作品『俺が代』、
舞踏作品『日本国憲法を踊る』。
この二作品はどちらも憲法をテーマに日本の社会に向き合おうとする
演劇とダンスです。この公演に先駆けて様々な時代・国の憲法を
声に出して読んでみる機会を作りたいと思います。
ナビゲーターは『俺が代』演出家の萩原雄太氏。
平成最後の春、演劇アプローチから憲法を読んでみませんか？



4 / 8 月 19:00 start

会場：丸善名古屋本店 6F 特設会場（定員 20 名）

料金：無料（要予約）

ナビゲーター：かもめマシーン演出家 萩原雄太

お申込み・お問合せ：丸善名古屋本店 TEL:052-238-0320（営業時間：am 10:00 ~pm 9:00）

かもめマシーン演出家 萩原雄太とは…？



2007年より東京都を中心に活動。カンパニー名「かもめマシーン」はチェーホフの『かもめ』と
ハイナー・ミュラー『ハムレットマシーン』に由来。

気功や太極拳などの身体メソッドを応用しながら独自の身体性を模索している。

第13回 A A F 戯曲賞、利賀演劇人コンクール2016年優秀賞受賞。

2017年ルーマニアの国際演劇祭TEMPSD?IMAGES FESTIVAL、2018年ベルリンで開催されたTHEATERTREFFEN
INTERNATIONAL FORUM、2018年および2019年にはシアターコモンズに参加。

萩原氏より…

「声に出して文章を読む」といっても、やりたいのは国語の時間にやられたような音読ではありません。

目で追えばざらりと流れてしまうような言葉に対し、自分の声でゆっくりと丁寧に向き合う。すると、ふと、その言葉が持つ質感は変化し、
全く別の意味を持った文章が立ち上がります。すると、世界は変わる。大げさに言えば、やりたいのはそういうことです。

「言葉」に出会うことによって、人は「世界」に出会います。これまで、72年にわたって使われてきた日本国憲法をはじめとして各国の憲法
を声に出し、その言葉に出会うことで、「世界」は全く違うものに見えてくるのではないのでしょうか。

愛知県芸術劇場

4/19(金) - 20(土)

かもめマシーン『俺が代』

4/21(日)

笠井勲『日本国憲法を踊る』



かもめマシーン 『俺が代』

演出：萩原雄太 出演：清水美奈穂

2015年の初演以来、国内外で上演を重ねてきた、現代日本の根源を扱った話題作。

日本国憲法の本質を浮かび上げらせ、社会についての問いを共有するソロパフォーマンス。

使用テキスト：日本国憲法 あたらしい憲法のはなし 衆議院本会議 尾崎行雄演説 他

2019/4/19 19:30

20 15:00

詳細はウェブサイトからご覧いただけます。

<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/>



劇場HP

